

「市政報告とまちづくり懇談会」 市長回答要旨

5月25日（水） 北里市民センター

※会の中で紹介した意見、市長回答をまとめたものです。市長回答は一部要約しています。

※回答は、市政報告会実施日時点のものであり、現在の状況と異なる場合があります。

番号	1	意見	①小牧市としての対応策 ②受入実績について ③その方への現状支援について	多文化共生推進室
番号	2	意見	小牧市については現在の受け入れ状況？今後についてはどのようにされているか	多文化共生推進室
回答要旨	ウクライナにつきましては、新聞報道等でもあるとおり、ウクライナからの避難者をお一人、小牧市で受入れさせていただいております。この方は、日本の国籍ですが、ウクライナの方と御結婚されて、マリウポリで生活をされておられた方です。マリウポリを脱出して、お一人で避難をということで、日本国籍ですから日本にみえました。外務省から小牧市が受入れを表明しているとご紹介され、小牧への避難を希望されたということで、我々受入れをさせていただきました。 本当に身一つで避難をされてこられていまして、まずは住居の確保ということで、市が一時的な滞在先を確保させていただきまして、その後、県と相談をして、公営住宅を確保することとなりました。 実は、国ではウクライナ人の方が日本に避難されると、支援メニューがありますが、国籍が日本だと、支援メニューが該当しないというようなことを国から聞いておりまして、その方はある意味、制度のはざまです。先般、市から国の制度と同様の措置を独自に支援させていただきました。 この前、市役所で私も直接お会いをしました。メディア等も来られたので、報道等もあったと思うのですが、身一つでほとんど所持金もなく、避難されてこられたということで、何とか生活再建をしてもらわなければいけないものですから、それに必要な支援は、しっかりさせていただいている状況であります。 今後、ウクライナからの避難、御希望の方がみえれば、小牧として受入れは表明しておりますので、適切にしっかりと支援させていただきたいとお伝えをしているところであります。 小牧市は、ウクライナへのロシアの侵略を非難する決議というのを県内でも一番早く、市議会の全会一致で決議しておりますし、一刻も早く平和が訪れることを願っております。			

番号	3	意見	子ども夢チャレも大変良いと思いますが、高齢者のつどい（小針の里etc）を望みます。※シニア夢チャレンジとか。1人暮らしが多くなり、近所でも寂しくされている方が多いです。	地域包括ケア推進課、支え合い協働推進課
回答要旨	地域のサロン活動なども積極的に展開をしていきたいと思っております。 また、独り暮らしの方が増えていますが、独り暮らしの集いなども年に1回開催をしていますし、孤立をされないことが大事ですから、地域の中でそうした機会をつくっていききたいと思っております。ただこれは、行政だけではなく、地元、地域の皆さん方、や民生委員、あるいは地域協議会、ボランティアの皆さんとともに、そうした機会をつくっていけるようにしなければいけないと思っております。そういったことを今、地域とご相談をしていますし、まさに大事なことでありますので、しっかりとつながりを持って安心して暮らせる、いざというときに手が届く、そうした体制を取っていききたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。			

番号	4	意見	市長さんのお話より、持ち主の方の許可を得ないと入れないと言われ、市独自の法令を作ったとの事ですが、建物及び庭の樹木等、近隣の方々に迷惑をかけております。立入調査や助言指導をして頂きます様よろしく願いいたします。 ※市独自の法令とは「小牧市建築物等及び空き地の適切な管理に関する条例」のこと。この条例の施行により所有者に対して適切な管理を行うよう助言や指導を行うことができるようになりました。（小牧市追記）	都市計画課、 環境対策課
回答要旨	まず、空き家については、もし今のご意見をお寄せいただいた方がお見えになれば、具体的名場所とか建物についてお聞きをできれば市のほうで確認をさせていただきたいと思っております。特定空き家の認定は非常にハードルが高いですが、市でまずは確認させていただいて、どういう対応ができるかということを検討するところからスタートをしなければいけない、個別で色々なケースがあらうかと思いますので、ぜひ市にご相談をいただきたいと思います。後ほど、ここの場所だと教えていただければありがたいと思います。			

番号	5	意見	「徳川家康」と聞いていますが、小牧山城が放映されると聞いていますが、いつ頃の時期でしょうか。小牧山城は近年、発掘調査により当時の姿が現になってまいりました。大いに小牧のPRになるものと確信します。楽しみにしているところです。	シティプロモーション課、 小牧山課
回答要旨	小牧山ということですが、大河ドラマは来年、令和5年1月から「どうする家康」という大河ドラマが放映されると聞いております。実は、NHKと小牧市が今、連絡を取っておりまして、まさに小牧山は必ず出てくると思っております。どういう形でそれを地域振興PRにつなげていけるかということ、NHKとかなり打合せをしておりますので、活用していきたいと思っております。来年の1月から12月までですから、どの時点で小牧・長久手の戦いが始まるのか分かりませんが、ご承知のとおり徳川家康、織田信雄連合軍の本陣ですので、必ず小牧山は放映されると思っております。どのぐらい詳しく取り上げられるか分かりませんが、ただ、関ヶ原の前に小牧・長久手の戦いこそが、まさに天下分け目の戦いだったというような、そういった考えもありますので、かなり取り上げられるのではないかと期待をしております。 これに併せて、今、急遽、山頂の歴史館と麓の「れきしるこまき」の展示内容のリニューアルを予定して、急ピッチで準備を進めております。信長の石垣ということもありますが、その次の家康時代の城、小牧・長久手時代の砦・本陣としての小牧山、そして小牧・長久手の戦いの状況を詳しくご紹介できるような展示内容を充実させていきたいと思っておりますので、ぜひ来年、大河ドラマと併せて皆さんにもご覧いただければと思います。 なお、山頂の石垣は今、5工区に分けて整備していきまして、1つ目の工区は完成しております。山の山頂の歴史館の北の三段の石垣の一部が今既に復元されていますので、まだ見ていないという方は御覧ください。夏前ぐらいまでしか見ていただけてなくて、その手前の工区の工事に入ってしまうと奥の通路に行けなくなるので、もしよろしければその辺りも御覧いただければと思います。5か年かけて順次、整備をしていきたいと思っております。今、せっかく登ってもらってもなかなか見るところがないので、来ていただいた方が喜んで見て帰っていただけるような整備をしていきたいと思っております。			